

地域経済の現状に係る地域の声(26年6月12日現在)

		全道の多くの地域で聞かれた声 <>は声が多い順	特定の地域で聞かれた声(他地域でも想定される声)
景気回復の実感		<p><景気回復を実感できない></p> <ul style="list-style-type: none"> ■景気回復の実感はない。(空知・商工団体、根室・市町村、日高・市町村、石狩・市町村、釧路・商工団体等) ■商業は景気回復を実感できない。(胆振・商工団体、渡島・商店街、オホーツク・商工団体など) など <p><建設は好調></p> <ul style="list-style-type: none"> ■建設は好調。(釧路・市町村、上川・商工団体、空知・市町村、オホーツク・商工団体など) など <p><観光が上向き></p> <ul style="list-style-type: none"> ■観光の入り込みが増加。(オホーツク・観光団体、十勝・観光団体、宗谷・商工団体など) ■外国人観光客が増加。特に台湾からの観光客が増加している。(胆振・市町村) など <p><景気回復を実感></p> <ul style="list-style-type: none"> ■景気回復を多少実感。(石狩・市町村、胆振・金融機関、上川・産業支援機関、宗谷・市町村など) ■売上が伸びている企業が多いと実感。(渡島・商工団体) など 	<p><景気回復の実感は一概には言えない></p> <ul style="list-style-type: none"> ■景気回復の実感はないが、悪いともいえない。(釧路・市町村、石狩・金融機関、日高・金融機関など) ■景気回復の実感は業種による。(空知・市町村、胆振・市町村など) など <p><新たな建設工事を受注できない状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ■公共事業減少により重機・設備を手放したため、仕事が増えても対応できない。(オホーツク・建設業団体) ■建設関係の受注は良い一方、人が少ないので全部受けられない。(釧路・商工団体、留萌・市町村) など <p><特定の業種で景気回復を実感></p> <ul style="list-style-type: none"> ■製造業は概ね順調。(胆振・市町村・産業支援機関、上川・商工団体など) など <p><観光に景気回復の実感はない></p> <ul style="list-style-type: none"> ■観光は景気回復の実感が全くない。年明け以降の入込が極端に悪い。(釧路・市町村) ■バス・ドライバー・ガイドが不足。来年は料金も上がる。早急に対策を打つ必要。(上川・観光団体など) など
	雇用情勢	—	<p><先行きが不透明で雇用に踏み切れない></p> <ul style="list-style-type: none"> ■継続雇用については、今後の景気が継続するのか不安のためできない。(石狩・市町村など) など <p><雇用や賃金拡大につながらない></p> <ul style="list-style-type: none"> ■観光入り込み数は増えたが、雇用・賃金等の拡大につながっているわけではない。(釧路・観光団体) など <p><賃金引き上げに係る問い合わせ企業が増えた></p> <ul style="list-style-type: none"> ■賃金引き上げ状況に係る問い合わせ企業が増えた。(渡島・商工団体)
雇用	人員の過不足感	<p><建設業で人手不足></p> <ul style="list-style-type: none"> ■建設では、技術職・技能職の人手が不足。(空知・商工団体、上川・商工団体、渡島・中小企業支援機関等) ■型枠工が不足しているが、育成という面で即効性がない。(十勝・商工団体、釧路・事業協同組合など) ■建設業は資格者を求める求人はあるが、求職とのミスマッチあり。(後志・ハローワーク) など <p><小売・サービス業で人手不足></p> <ul style="list-style-type: none"> ■スーパー関係の人員不足感が継続。(後志・ハローワーク) ■飲食店は募集しても応募がなく雇用してもやめる人が多く採用に苦勞。(渡島・中小企業支援機関など) など <p><介護関係で人手不足></p> <ul style="list-style-type: none"> ■介護は求人はあるが求職がない状況。(宗谷・市町村、後志・ハローワークなど) など 	<p><製造業で人手不足></p> <ul style="list-style-type: none"> ■製造業で熟練技術者の確保という問題がでてきた。(空知・商工団体) など <p><観光関係で人手不足></p> <ul style="list-style-type: none"> ■観光関係は通年雇用が難しく募集しても集まらず人手不足。(釧路・市町村) など <p><水産加工業で人手不足></p> <ul style="list-style-type: none"> ■水産加工業はきついイメージがあるのか募集しても集まらない。(オホーツク・金融機関) など <p><情報産業で人手不足></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ソフトウェア企業で人が集まらないために札幌に進出。(渡島・商工団体)
	消費税率引き上げによる影響	<p><消費税引き上げによる影響は見られない></p> <ul style="list-style-type: none"> ■4月の引き上げ直後は商店街の人通りも減少が見られたが、半月ほどで元の水準に戻った。(後志・商店街) ■4月前半は消費者の買い控えが多少あったが、それ以降は特に影響はなかった。(渡島・商店街) ■影響なしの声が多数。どの業界も思っていたほどの影響なし。(上川・商工団体) ■特に影響が出ているという情報はない。(全道・一次産業団体) など <p><駆け込み需要と反動減は想定範囲内></p> <ul style="list-style-type: none"> ■3月の駆け込み需要、4月の反動減は想定内。(石狩・商店街、石狩・市町村) ■消費税増税による4月からの買い控えなど、反動減についての声あまり聞こえてこないことから、現時点では、影響についてはさほど大きくないものと考えている。(空知・商工団体) ■駆け込み需要により、2～3月と売上を伸ばした割には、4月の反動減は想定内。(全道・小売業団体) など 	<p><消費税引き上げによる影響が見られる></p> <ul style="list-style-type: none"> ■消費者の節約志向の高まりによる売上の減少により、多少影響あり。(日高・商工団体) ■小売の影響は大きく、買い控えによる売上減少。(釧路・商工団体) など <p><転嫁できない事業者もいる></p> <ul style="list-style-type: none"> ■商工業者の中には、価格転嫁できない状況にある事業者もある。(釧路・市町村) ■飲食業ではなかなか上乘せが難しく、苦慮している。(留萌・商店街) など
	企業のコストアップ	<p><石油製品や原材料の高騰が、企業の経営・製造コストに影響></p> <ul style="list-style-type: none"> ■原材料費や燃料費、電気代のアップが経営に響いている企業が多い(胆振・産業支援機関、檜山・商工団体) ■原材料高騰の影響は出ている。工事費用も2～3割あがっている。(オホーツク・商工団体) ■宿泊施設は燃料の高止まりがかなり影響している。(釧路・市町村) など <p><電気料金値上げが企業の経営コストや利益に影響></p> <ul style="list-style-type: none"> ■電気料金の値上げは大きな影響。アーケードの照明をLED化。(石狩・商店街) ■水産加工業者や鮮魚店など大型冷凍・冷蔵庫を使用する業種への影響が大きい。(根室・市町村) ■できる限り価格転嫁するように考えているが、現実的には難しい。(全道・機械工業団体) など <p><燃料費高騰が運送業の経営に影響></p> <ul style="list-style-type: none"> ■道内間の輸送でもコスト増の傾向。(石狩・市町村) ■運送事業者は料金にすぐに反映できない。(空知・商工団体) など 	<p><電気料金の値上げは影響は出ていない></p> <ul style="list-style-type: none"> ■現時点では、経営に支障を生じるほどの影響は出ていない。(空知・商工団体、商店街) ■工業団地の大口利用者でない限り影響はあまり感じられない。(石狩・商工団体) など <p><住宅関連では完成の遅れも発生></p> <ul style="list-style-type: none"> ■住宅関連では、設備機器などが納品されず、完成が遅れている事例あり。(上川・金融機関)
		<p>聴取方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域意見交換会(26年5月下旬から。14振興局地域のうち11振興局地域で実施済) ・振興局からの地域経済の現状に係る定期報告(26年4月分から毎月1回) ・商工業団体、業界団体への聞き取り調査(業種別業況動向調査—26年5月実施) 	